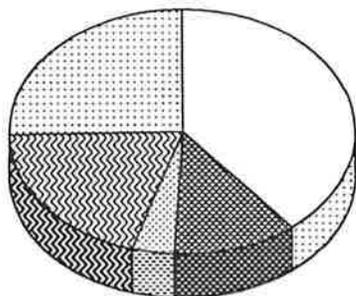


平成10年度 第37回 通常総代会

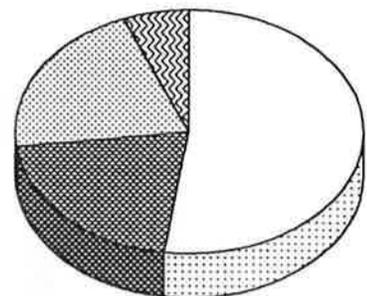
5月27日、阿見町商工会会議室において、平成10年度第37回通常総代会が行われ平成10年度商工会事業・予算等が可決された他、任期満了にともなう役員の変更が行われた。

総予算 8708万円



国・県補助金	3,421万円	39.3%
町補助金	1,000万円	11.5%
手数料	350万円	4.0%
会費	1,747万円	20.1%
その他	2,190万円	25.1%
合計	8,708万円	

経営改善普及事業費	4,551万円	52.3%
管理費	1,813万円	20.8%
地域総合振興費	1,805万円	20.7%
その他	539万円	6.2%
合計	8,708万円	



支出

収入

平成9年度 事業報告



第37回通常総代会

昨年我が国の経済は、消費税の引き上げ、特別減税の廃止、医療費負担率の増大などにより個人消費や住宅投資が低迷し、更に、民間設備投資の伸びが鈍化し、加えて株・債券・円のトリプル安や生保、銀行、証券などの相継ぐ破綻、銀行の貸し渋りによる相継ぐ大手企業の倒産が発生するなど、景気後退と合わせ危機的な状況を呈することになりました。

このような状況の中で、我が中小企業は景況感が悪化し更に、経済のグローバル化、規制緩和などによる競争の激化など構造変化への対応に苦慮、閉塞感を強めた年でもありました。

このように厳しい状況の中で、商工会としては経営改善普及事業を中心とした事業の推進、或は、地域社会と密接に関わる活性化事業の展開をして参りました。

平成9年も平成8年に引き続き、パティオアミ構想の実現に向けて『会員意識調査』を実施、その結果に基づき、最も希望の多かった県立医療

大学周辺に商業集積を図るべく、『阿見町商業活性化事業推進委員会』で検討、協議を重ねて参りました。

また、『会員意識調査』の結果、外国人モデル事業への関心が高いことから、先進商工会である友部町商工会への視察研修を実施致しました。

1月には『経済講演会』を実施し従来から実施している会員の健康診断・健康講演会を『健康維持増進支援事業』（県の補助事業）としてとりあげ、会員の検診料の補助をさせて頂きました。広報活動の一環としては、当商工会のオリジナルカレンダーを作り全会員に配布しました。

主な継続事業としては、『まあい・あみ・まつり』を通しての一般町民への貢献、会員相互の親睦・健康増進を目的としたソフトボール大会、ゴルフ大会、会員研修及び会員従業員研修、役員一体となつての共済事業の推進、金融転換、顧問税理士・職員による所得税決算申告・消費税相談の実施など多くの事業を実施致しました。



第37回通常総代会

デフレ経済の様相を呈している今日、我が中小企業の景況感は悪化の一途を辿っており、極めて厳しい状況下にあります。

こうした中、我が国の経済は量の拡大から質への転換へと新たな構造転換を進める重大な変革期を迎え、市場原理に基づく新しい経済システム、金融システムの構築、行政改革などが求められている大変難しい状況にあります。

商工会は社会福祉協議会の移転に伴い、会員の長い間の念願である商工会館を町から購入し、事務所内外の整備拡充を図り、相談窓口などを整備しました。

今後も経営・金融・税務・共済事業などの実施はもとより、窓口指導・相談の強化と相まって巡回指導の強化を図り、行政とのタイアップによるまちづくりへの取り組みなど地域の総合経済団体としての役割を積極的に果たしていく方針であります。

各関係機関をはじめ、会員各位の商工会に対する深いご理解と絶大なご支援を賜り、ここに無事年度を終えることができたことを心から感謝申し上げます。

- ◆ 組織 ◆
- 商工会員数 九一七名
- 個人事業会員 五七五名
- 法人事業会員 三四二名
- ◆ 関係組織団体 ◆
- 労働保険事務組合 阿見代理所
- 茨城県火災共済協同組合 阿見代理所
- 小規模企業共済 阿見町扱い所
- 関東自家用自動車共済 協同組合阿見代理所
- 竜ヶ崎法人会阿見地区会 二五二名
- 阿見町青色申告会 二八三名
- 阿見町食品衛生協会 二二九名
- 阿見町スタンプ会 六九名
- 阿見機械金属工業会 二四名
- 阿見町企業連絡協議会 八八名

- ◆ 商工会役員組織 ◆
- 会長 一名
- 副会長 二名
- 理事 二七名
- 監事 二名
- ◆ 事務局機構 ◆
- 事務局長 一名
- 経営指導員 三名
- 補助員 二名
- 記帳専任職員 一名
- 一般職員 一名

平成10年度事業計画

阿見町は首都圏のベッドタウンとして人口増加が確実視されており、環境の都市化に伴いロードサイド型の店舗・中大型店等が進出し、地域間の商業の競争激化が予想され地元事業者を取り巻く環境は依然として厳しい。

このような状況をふまえてまず、経営改善普及事業の充実策として、経営指導員による巡回指導および窓口指導相談を強化する。地域総合振興事業の充実策としては、昨年に引き続き商業活性化事業の推進、新商業集積地の視察・勉強会を開催する。

さらに、人材の養成、下部機関の育成強化、部会活動の活発化、商業まちづくり委員会による行政当局への『まあい・あみ・まつり』に関する具体的な答申をはじめ、会員の要望をくみ取り、行政への具体的な提言活動を積極的にを行い、県の補助事業である『情報化モデル事業（パソコン研修）』や、外国人研修モデル事業に関する勉強会のほか、毎年好評の新春経済講演会を実施していく方針である。

主な継続事業としては、今年で10周年を迎える『あみ商工福祉まつり』の内容の更なる充実、まあいあみまつりへの支援、各種共済事業および記帳機械化の推進、『商工あみ』の発刊、商工会オリジナルカレンダーの作成、会員研修、従業員研修、会員健康診、経営者講演会、ソフトボール大会ゴルフ大会、確定申告相談、金融転換を実施していく。

阿見町商業界の状況と今後を展望する時、真に総合的な指導団体として、地域と会員に対して果たすべき役割は、以前にも増して重要なものであると認識している。

No.18

こんにちは お店訪問

有限会社

トーフの根岸

少しだけあなたのお健康のお手伝いをさせていただきます

とあるスーパーで、『根岸の豆腐がなければ、どこのスーパーも同じだわ』とお買物の奥さんに言われたほどの美味しさという噂の『トーフの根岸』さんを訪問しました。



トーフの根岸を経営する根岸治郎さんと千代子さん

健康ブームで豆腐が注目されて以来、豆腐に関連した様々なメニューが開発され、世界中で食われています。

かつて、豆腐屋の売り物というトーフ、豆腐、厚揚げ、油揚げの三つぐらいでした。

さまざまな惣菜を扱う大型店の出現や生活環境の激変により、同業者が次々に減っていく中、『どうしたら生き残れるか』を模索した結果、『豆腐の専門店のあるべき姿として』、『お客さんの健康を第一に、そして他の店にはないものを開発する』に至りました。

お客さんの体の健康のために、まず原材料にこだわりました。大豆は完全無農薬で従来の交配方法による遺伝子組み換えのしていないものを使い、添加物を使用する必要のないミネラル塩を選びました。

いずれも作っている人の顔が分かる物にしています。水は地下水を汲み上げ、特殊な装置で精製しています。健康に有害と思われる物は極力廃し、体に良い物はほとんど取り入れる。それらの材料を無駄にしないよう、キズモノの商品を惣菜に変身させたり、豆腐作りに生じる『おから』を使ったハンバーグ、ドーナツ、コロッケなどを開発し、原材料のロスを完全になくしました。様々な配慮をされて生み出された商品だけに、比較的高値ではありますが、大量生産品とは比較にならない品質を備えていると自信をもっています。

そしてこれらの商品の本質を理解、納得して購入して頂けるようにお客さんとのコミュニケーションを大事にしています。おからハンバーグやコロッケの作り方を詳しく教えたり(知りたい人には喜んで教えます。商売上肝心な部分はヒミツですけど)、お客さんのちょっとした注文にも応えたり、お客さんの知らない美味しい食べ方を教えてあげたりしています。それに対するお客さんの反応や喜ぶ顔を見るのが最高に嬉しく、そしてそれが店を続けていく

ソロバン合格おめでとう

全国商工会連合会が主催する第108回珠算検定試験が阿見小学校で2月15日に開催され、96名の受験者は真剣なまなざしで挑戦しました。合格者は次の通りです。(一、二級のみ掲載)

◆一級合格者◆
小林慶太さん(千代田町) 下稲吉小学校6年生



◆二級合格者◆

- 横山慶伍さん(阿見町) 高原美香さん(土浦市) 大里直貴さん(土浦市) 所里美さん(千代田町) 小池美由起さん(千代田町) 森田美帆さん(千代田町) 工藤愛さん(千代田町) 竹中淳美さん(土浦市) 稲見綾さん(土浦市)

エネルギーになっています。

品質を考慮して、大量生産はしていない上に、そのほとんどが巡回による移動販売に回するため、店に置ける商品のごく僅かで、早めに来るか予約しておかないと、品切れに



次回珠算検定試験のお知らせ
第111回珠算検定試験
日時 平成10年11月15日(日)
申し込み締切日
平成10年10月16日(金)

申し込み、問い合わせは
阿見町商工会までどうぞ

*1~8級の合格者には通商産業大臣(全国商工珠算連盟名誉会長)の合格証が授与されます。9~10級の合格者には全国商工会連合会会長(全国商工珠算連盟会長)の合格証書が授与されます。

めがせ、
しべらアップ!!

なることが多いので注意。

豆腐のうわさを聞き、取手や柏の方から訪れてくれる人もいるという。

食べてくれる人の健康のためのメニューを考案し、新しい食材『ヤーコン』の活用と研究など、常に新しいもの、他の店ではやっていないことを模索し、健康食を世に広め、あるべき食生活の姿を追求をしている豆腐屋が『トーフの根岸』である。

そうそう、この店おでは、この近辺では珍しい湯葉も作っていますので、お好きな方は一度お試しあれ。

有限会社 トーフの根岸
《製造・販売・卸》

阿見町青宿四二五―七
電話 八七―一七二七

☆☆☆☆☆☆☆☆ 講座案内 ☆☆☆☆☆☆☆☆

講習名	開催日	時間	内容	定員	受講料
ガス溶接技能講習	7/2,3	9時~16時	ガス溶接の基礎知識、装置の取扱、切断作業	20名	2700円
第二種電気工事士受験対策	7/8,9	9時~17時	第二種電気工事士受験準備	30名	2850円
小型移動式クレーン技能講習	7/21,22,23	9時~16時	小型移動式クレーン操作に関する学科及び実技	20名	2700円 ★
第一種電気工事士受験対策	9/5,6	9時~17時	第一種電気工事士受験準備	30名	2850円
アーク溶接特別教育	9/9,10,11	9時~17時	溶接装置・作業に関する知識・関係法令など	20名	2850円
品質管理(中級)	9/16,17	9時~17時	管理図を振り下げ品質管理の本質を知り、人が変わっても不良品を出さない仕組みを習得する	20名	2850円
ガス溶接技能講習	9/24,25	9時~17時	ガス溶接の基礎知識、装置の取扱、切断作業	20名	2850円
剪定の仕方	9/29,30	9時~17時	庭木(松・銀杏・紅葉・拓植等)の剪定の仕方	20名	2850円

(注) ★印は受講料のほかに、免許交付手数料として別に19,300円がかかります。

お問い合わせは
茨城県立土浦産業技術専門学校
土浦市中村西根番外50
TEL 0298-41-3551 FAX 0298-41-4465

編集後記

まわりを見渡すと、情報というモノがあちこちに見受けられる。テレビ、ラジオからは一方的に情報が飛び出してくる。書籍に至っては数多く、一生の内を知る情報は一体どれだけあるのだろう。マスメディアの発達により何をすることも、既に情報があり、多くの無駄を省き最短距離で事を成す手段も、何らかの形で在り、便利ではある。『物事をそれに当てはめて行くだけ』という非常に味気ない図式ができてくるような気がするが、先人達が試行錯誤して得てきた知識や知恵がたまたま台となり、そこからまたたく新しいものが生まれることもあるのだろう。(H)

商工会とは……

商工会は、その地域(市町村)の総合的な経済団体として、法律に基づき、商工業者の皆さんによって自主的に設立された組織で市町村に一つしかつくりすることができません。また、商工会は直接に企業のお世話をすることだけでなく、その市町村の商工業全体の発展を図るための事業や要望・陳情などを行う公益性の特殊法人です。商工会は、小規模事業者の相談・指導を行い、国・県や市町村から補助金を受けております。